

つなげモンシリーズ

社内外の分断をなくし、
データの自動化を実現する。

あらゆるシステムと現場をシームレスにつなぐ
ゲートウェイ・プラットフォーム

提案書 (Confidential) / K-SP Co.,Ltd.

■ 現場や経営が抱える課題

- ・ 機械がいつ止まったか分からない

工場の機械がチョコ停（一時停止）しても、担当者が現場に行くまで気づかず、生産計画に遅れが生じている。

- ・ 紙の稼働日報によるタイムラグ

機械の稼働時間や生産個数を、作業員がストップウォッチで計って紙に記録しており、正確性に欠ける。

- ・ 職人の「勘」に依存した異常検知

「機械の音がいつもと違う」というベテランの感覚に頼っており、若手では故障の予兆に気づけない。

■ つなげモンが提供する価値

- ・ システムと現場をシームレスに連携
- ・ データの二重入力をなくし、自動化を実現
- ・ リアルタイムな情報共有で意思決定を加速

つなげモン IoT IoT 化がもたらす圧倒的な現場改善

※以下は支援内容に基づく想定イメージです。

80%

ダウンタイム削減

故障の予兆を事前に検知し、機械が完全に停止する前にメンテナンスを行います。

0 分

異常気づき遅れ

ランプやアラームだけでなく、担当者のスマホ・スマートウォッチに直接通知します。

24h

無人監視の実現

夜間や休日でもセンサーが工場の状態を監視し続け、異常があれば即座に管理者を呼び出します。

つなげモン IoT

古い機械も最新システムとつながる

「つなげモン IoT」は、特殊なプロトコルを持つ工場設備と、クラウドシステムを繋ぐ強力な架け橋になります。

☒☒ 温度・
振動セン
サー

⚙️ PLC（制
御装置）

つなげモン IoT

☒ 生産管理
システム

☁️ Kintone/
AWS

☒ LINE
WORKS

つなげモン IoT 現場のビフォー・アフター

異常検知のスピード

導入前

パトランプが回っても、広い工場では誰も気づかない



導入後

異常発生から 0.5 秒で、担当者のスマホにプッシュ通知

これまでは機械のパトランプを目視で確認する必要がありましたが、システム直結により、設備の異常信号をキャッチした瞬間にチャットツールへ自動通知。対応スピードが劇的に向上しました。



つなげモン IoT

導入までの3ステップ

【Step1】 センサーの後付け（1 日）

既存の機械を改造する必要はありません。外付けの電流センサーや振動センサーを後付けするだけで、データ収集の準備が完了します。

【Step2】 データの収集と分析（2 週間）

センサーから上がってくるデータを蓄積し、「正常時」の波形をシステムに学習させます。

【Step3】 リアルタイム監視の開始

ダッシュボードによる稼働状況の可視化と、異常値が出た際のアラート通知の運用をスタートします。

工場の「今」を、手元のスマホで確認しませんか。

まずは1台の機械から。センサーの無料貸出とテスト運用をご相談ください。

つなげモン IoT 費用の目安

初期費用

150万円～

月額費用

50万円～

無料トライアルについて

まずは1つのラインにセンサーを設置し、データの取れ高や精度を無償で検証する PoC（概念実証）をご用意しています。